

[レスリング] 全日本選抜・フリースタイル120kg級

北村初優勝 世界選手権へ

6月3、4日に全日本選抜レスリング選手権が東京・代々木第2体育館で行われ、フリー120kg級で北村克哉（商3・日本工大付属東京工高）が見事初優勝を遂げ、9月の世界選手権への出場を決めた。

順調にトーナメントを勝ち上がり、決勝で北村が対戦した相手は、2年連続全日本2位の実績を持つ後輩・荒木田進謙（経済1・光星学院高）。過去の対戦成績は北村の2敗だったが、先輩の意地を見せ、同門対決を制した。

ケガもあり、本調子ではなかったが「準決勝の相手が、先日リーグ戦で敗れた相手だったので、そこで勝てたことが勢いにつながった」と北村。荒木田とは普段から仲が良く「正直、やりにくかった」と本音を漏らしたが、世界選手権に向け「世界は技術や力のレベルがとても高いので、これからしっかりと練習して力を付けていきたい」と意気込みを語った。

その他にも、フリー55kg級で稲葉泰弘（経営3・霞ヶ浦高）、グレコ84kg級で矢野将章（経済2・広陵高）がそれぞれ3位入賞。グレコ60kg級では岩崎健太さん（平18経済）が準優勝に輝いている。

なお、5月11日から22日まで東京・駒沢体育館で行われた東日本学生リーグ戦は5位だった。

（清水 智之・ネット情報3）

（注）文中のフリー＝フリースタイル、グレコ＝グレコローマンスタイル。

[フェンシング] 全日本学生王座

女子フルーレで優勝

目の前の“一本”大切に

フェンシングの全日本学生王座決定戦が6月3日、中大体育館で行われ、専大は女子フルーレで見事16年ぶり10回目の優勝を成し遂げた。準決勝で立命館大に45—23、決勝戦では日体大に41—28と、安定した試合運びで勝利した。チーム一丸となってつかんだ学生王座。残す大会もこの調子で勝ち進んでほしい。

(木村 太一・法3)

【出場選手のコメント】

▽舟山 紗智主将(経済4・米沢東高)―「チームの雰囲気が良く、目の前の一本を大切にできる意識が優勝に結びついたと思う。支えてくれた人たちに感謝したい」

▽鈴木 彩香(商4・埼玉栄高)―「大学最後の年でこのような結果が残せてうれしい。この成績に満足せず、次の大会に向けて練習に励みたい」

▽佐々木 智子(経済3・八千代西高)―「この結果を今後に生かし、チームをもっと盛り上げてがんばっていきたい」

▽高橋 南(文2・聖霊女子短大附高)―「大きな舞台で優勝という貴重な経験ができた。これからも日々努力していきたい」

[ゴルフ] 関東女子大学春季対抗戦

男女ともに全国大学対抗へ出馬

関東女子大学春季は3位

関東女子大学春季対抗戦が5月14、15の両日、栃木県のサンヒルズカントリークラブで行われ、専大は621ストロークで3位となった。この結果、9月の全国女子大学対抗戦の出場権を獲得した。

「勝てるチームだと思っていた」と語る西村麻衣主将(商4・麻生高)だが、思った以上にスコアが伸びず、少し焦りも感じているようだ。「全国で勝つには個人個人の練習が大事。優勝目指して頑張ります」と力強く話した。

国際大会出場をかけた試合をどう戦うか、期待をもって彼女たちのプレーを見届けたい。

[ゴルフ] 関東大学春季リーグ

男子は4位

5月18、19の両日、愛媛県の松山ゴルフクラブで行われた四国女子アマチュア選手権で、木村麻希(経済1・明德義塾高)が見事優勝を飾った。7位の横山倫子(文4・香川西高)らとともに日本女子アマチュア選手権に出場する。

[ゴルフ] 四国女子アマ

木村が優勝

5月18、19の両日、愛媛県の松山ゴルフクラブで行われた四国女子アマチュア選手権で、木村麻希(経済1・明德義塾高)が見事優勝を飾った。7位の横山倫子(文4・香川西高)らとともに日本女子アマチュア選手権に出場する。

[馬術]

人馬一体…華麗な手綱さばき… 各大会で上位優勝

馬術部が5月から6月にかけて行われた各大会で、多くの入賞者を出し、確実に結果を残している。6月22日から行われる関東学生でも秘めたポテンシャルを十分に発揮し、人馬一体となった華麗な手綱さばきを見せてほしい。

【東京都馬術大会＝5月19～21日】学生賞典馬場馬術競技で西山慶太主将（商4・玉野高）が見事優勝を果たしたほか、東京障害120で武井慎弥（経済2・奈良高）が2位と健闘した。他の主な入賞者は次の通り。

▽東京障害100・吉澤和紘（経営3・西宮香風高）＝4位▽同120・吉澤＝5位、西山＝7位▽学生賞典馬場馬術・石澤崇幸（経営4・帝京第三高）＝4位、西原郁人（経済3・札幌光星高）＝5位▽第3課目馬場馬術競技・吉澤＝4位、西山＝8位



▲優勝した西山主将

【全日本ジュニア総合馬術大会＝5月26～28日】ノービスクラスで吉澤が5位入賞を果たした。

【関東学生馬術争覇戦＝6月3、4日】初戦で立教大を5—1で下したが、続く明大には0—6で完敗。3位をかけて東農大と戦ったが2—4で敗れ、昨年と同じ4位で大会を終えた。富沢健悟監督は「関東学生に向けて仕上がりは悪くないが、もう一步レベルを上げて臨みたい。選手たちには自分たちが勝つのだという強い気持ちを前面に出して戦ってほしい」と話した。

（文・写真とも萩野 敦子・文2）

※会場はすべてJRA馬事公苑

初タイトルはメジャー — 近藤智弘さん プロ日本一に

5月11日から14日まで今季最初のメジャー大会、第74回日本プロゴルフ選手権が岐阜県の谷汲カントリークラブで行われ、ゴルフ部OBの近藤智弘さんが、プレーオフで友利勝良プロを下しプロ7年目での初タイトルをメジャー大会で飾り、5年間のシード権も獲得した。専大OBの活躍に誇りを感じると共に刺激をうける現役生もいる。これからも頑張ってほしい。

(澤田 和輝・法3)